

イセカ50%プレミアムキャンペーン 皆さんの声を市長に届けました 共産党市議団



3月18日、市長に申入れる北島元雄、
長谷田公子両市議と須藤博通くらし対策委員長

検証と物価高騰から市民の暮らしを守るためにさらなる対策を

4万円で2万円のポイント還元という破格のイセカ50%キャンペーン。「なぜ市外の人が対象になるの」「家計が厳しくなかなか機会がなかったの、家族や仲間と食事に行こうかと思っていたら即完売で夢となった」「セブンイレブンで並んだけれど入金できず買えなかった」「せっかく市役所で事前にカードをつくったのに」とたくさんの方から怒りの声が届いています。日本共産党市議団は、3月11日に経済市民委員会で質疑し、3月18日には市長に皆さんの声を届け、検証と物価高騰から市民の暮らしを守るためにさらなる対策を求めました。「検証して、次の対策を考える」旨の回答がありました。

早い者勝ちという物価高騰支援で市民の暮らしの下支えには程遠い対策に

「市外から市内への誘客が見込めるので効果はある」というのが経済市民委員会で
の答弁で、反省の弁はありませんでした。

ちなみに、購入者は4万人で3割が市外で
す。前橋の職場で伊勢崎に関係ない人が購

問い合わせや苦情殺到

市役所に1000件、コールセンターに1200件、問い合わせや苦情が届いています。

議会で市長のお詫びの発言はありましたが、検証して買えなかった市民にこそ経過説明とお詫びをすべきです。



入したと話題に。東京の息子が購入しポイント
を贈ってくれたとの話も聞こえてきます。

物価高騰から生活者の暮らしの下支えと消費
を喚起し、市内業者の活性化が目的ですが、
支えられたのは一部の人だけ。市外の人が
購入し大型店で消費をしたのではどちら
の目的も果たせません。

一般家庭の消費額の物価上昇影響額が年間
42000円、この半分を補てんする試算で2
万ポイントとしたとの説明。21万人の市民
に対して市外を含めて支援を受けるのは
35000人(制度設計)で、早い者勝ちとい
う物価高騰支援で市民の暮らしの下支えに
は程遠い対策になりました。物価高騰で大変
な市民の暮らしを考えれば、このような対策
はあまりにも想像力の欠如で厳しく批判され
べきではないでしょうか。